

申込方法

申込方法

お申し込みには「参加申込書」と「参加申込金」の2点が必要です。

- ◆参加申込書 資料編にある申込書にご記入ください。
- ◆参加申込金 5万円（研修費用の一部に充当します。）

以上の2点を南日本カルチャーセンターに現金書留でご郵送ください。申込金は銀行振り込みでも構いません。到着次第、ガイドブックと書類一式をお送りします。

申込先及び振込先

◆申込先

〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目16番19号
株式会社 南日本カルチャーセンター

◆振込先

三井住友銀行 鹿児島支店 普通口座 828282
肥後銀行 鹿児島支店 普通口座 1055554
南日本銀行 本店 普通口座 230800
鹿児島銀行 鴨池支店 普通口座 3138706
郵便振替口座 02010-8-32878

◆口座名 (株)南日本(ミナミニホン)カルチャーセンター

- ※必ず参加者名で送金してください。
- ※残金は2月25日までに支払ってください。

参加取消し

参加者のご都合によりお取消しになる場合は、次の取消料をお支払い頂きます。

出発日の前日より起算して30日前から3日前	研修費用の20%
出発日の前々日より出発日当日	研修費用の50%
研修開始後以降、又は無連絡不参加	研修費用の全額

ジュニア留学に参加して

まずは出発する時、慣れない外国と、家族と離れることへの不安で押し潰されそうだった。でもその不安は、周りの参加者達と仲良くなれたことですぐに無くなった。そしてアメリカに到着してからの期待でいっぱいになった。その期待通り、アメリカでの10日間はとて中身の濃い、楽しいものとなった。一方で辛い思いもした。私は3日目、そして8日目に酷いホームシックにかかり、部屋で1人になった時、家族の写真を見てずっと泣いていた。でもこういう辛い思いをすることで「明日はがんばろう!」という気持ちになれた。
宮崎県鵬翔高校1年 河野 遥和

僕は今回のジュニア留学を通して、多くのことを学びました。その中でも特に大きかったのが、「多様な文化を受け入れる心」と、「自らを主張して、相手に正直に話す」ということです。僕はアメリカの文化を自分達が理解して協力している、と思っていましたが、アメリカの家庭も僕たち日本人の文化を受け入れようとしてくれたのだと気が付きました。お互いの文化を理解しようとする、良い「share」ができたのではないかと思います。来る前の不安とは裏腹に、笑顔のあふれる留学でした。
沖縄県安岡中学校2年 谷口 颯一

アメリカの学校では、英語が分からなくても嫌な顔ひとつせず、分かりやすい英語に変えて優しく接してくれました。ホームステイ先の家では、自分のことは当たり前にならないといけなかったのが、親に頼り切っていたこと、わがままな自分に気付くことができました。このホームステイをきっかけに、「私は自立しなければいけない」という自覚を持つことができました。
鹿児島県南種子中学校1年 要 花音

私は今回の留学で「Thank you」の大切さを学びました。最近家族に「ありがとう」という言葉を言うことはあまり無いです。しかし、留学をしていつもいる家族がいないだけで、とてもさびしく感じます。そして、気にかけてくれる家族がいないだけで、とても恋しく感じます。なので、いつも近くにいる家族に、当たり前のことでも「ありがとう」という言葉をかけてみようと思います。家族のいつもいてくれるありがたみを感じました。
佐賀県佐賀大学教育学部附属中学校1年 斎藤 琴美

出発前、8割の楽しみと2割の緊張で空港へ行くと、みんな優しく面白くて、安心してアメリカへ行ってきました。そして、ホストファミリーが本当に温かく迎えてくれて、不安だった気持ちはいつの間にかなくなりました。「毎日2つ以上新しいことに挑戦してほしい」と言ってくれ、初めての体験をたくさんさせて頂きました。英語が上達したと言ってくれたのですが、英語力だけでなく、人間として成長することも出来たと思っています。日本で様々なことに挑戦し、将来世界で活躍できる人材になりたいと思います。
大分県大分舞鶴高校1年 安部 紗和

帰国する時にホストファミリーがハグをして、「また必ずここに戻ってきてね。ここは君の家だから、いつでも待っているよ!」と言ってくれて、本当に嬉しかったです。たとえ知らない場所の知らない人であっても、自分から話しかけて心を開けば、繋がれるということを学びました。この経験を活かして、多くの人と手を取り合い、より幸せな世界になるよう少しでも努力します。
長崎県時津中学校2年 清家 夕里帆



12日間の米国留学

2024年春休み

～アメリカの学校生活を体験しませんか～

ジュニア留学

家族の一員として生活する「家庭生活体験」

同世代の子ども達と授業を共に受ける「学校生活体験」

社会見学や地域の方々と触れ合う「社会生活体験」

総合的異文化学習を目的としたホームステイプログラムです。

詳細は資料編をご請求ください

研修企画 南日本カルチャーセンター

お問い合わせ・お申し込み先

旅行企画・実施 (株)南日本カルチャーセンター

〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目16番19号

TEL 099-257-4333(代表) お問い合わせ専用 ☎0120-212122

観光庁長官登録旅行業第1355号 (社)日本旅行業協会正会員
総合旅行業取扱管理者 平原靖子

ホームページ <http://www.mncc.jp>

募集内容

研修目的

若い年代のうちに異文化を体験することほど価値のあることはありません。日本と異なる言語、文化、生活習慣、価値観をもつアメリカにおいて、同世代の子どもたちと触れ合い、相互理解を深めることで、異なる価値を受け入れ、世界標準というものの考え方のできる人材育成を目的としています。

研修の特色

- アメリカの学校生活を体験できる。
- 事前研修会（オリエンテーション）が充実している。
- 期間中の様子をセンターのホームページ上で公開する。

研修参加資格

- ◇日本国籍を有する中学生、高校生（18歳未満に限る）
- ◇心身健康で、自分の身の回りのことを一人でできること（詳細は資料編参照のこと）
- ◇異文化や英語に強い興味と関心があり、英語で積極的に会話を行う意欲のあること
- ◇参加者、保護者とも配布された資料を理解し、センターの指示、決定事項を遵守できること
- ◇参加者、保護者ともプログラムの趣旨を理解していること
- ◇オリエンテーションに参加すること

研修期間

2024年3月26日～2024年4月6日(12日間)
※滞在地（行先）と研修期間（出発日と帰国日）は、グループで異なり、研修生の語学力や学年を考慮して、センターで決定いたします。

研修費用

618,000円（那覇空港発着料金）
598,000円（福岡、宮崎、鹿児島発着料金）

募集定員

40人

ホームステイ地

アメリカ合衆国(西海岸の郊外都市)

申込締切日

2024年1月26日（但し、定員になり次第、締め切ります。）

利用航空会社

日本航空、全日空、ユナイテッド航空、大韓航空、デルタ航空、エバー航空、中華航空、アジアナ航空、エアカナダ、アメリカン航空、アラスカ航空

研修費用の範囲

◇研修費用に含まれるもの

1. 日本から米国までの往復航空運賃エコノミークラス
2. 集合から解散までに発生する団体行動中の交通費用一切
3. 米国受入機関の運営費用及び準備費用
4. 期間中に計画されたプログラムの入場料、施設使用料などの活動費一切
5. 往復の旅程中に発生する宿泊費用（食事代は除く）

6. オリエンテーション費用
7. ガイドブックなどの学習資料・配布物の諸経費
8. 引率指導者同行費用

※家庭内での食事と宿泊は、ホストファミリーの好意により提供されず。

※上記内容の一部を利用されなかった場合でも、当該費用の一部を返金することはありません。

◇研修費用に含まれないもの

1. 米国税関申告書作成料、携帯品・別送品申告書作成料、電子渡航認証システム（ESTA）代理申告手数料や有効性確認などの費用9,000円
2. ESTA申請料21ドル（有効なESTAの所有が確認された場合は必要ありません。）
3. パスポート印紙代（所持者は不要）
5年旅券…11,000円
4. 米国出入国通行税、入国審査料、税関審査料、検疫使用料、米国保安料、空港施設使用料
約8,000円
5. 国内空港施設使用料や旅客保安サービス料、航空保険特別料金、空港税、国際観光旅客税など
約5,000円
6. 燃油サーチャージ料
約47,390円（2023年10月6日時点の目安）
7. 超過航空受託手荷物料金
8. 任意の海外旅行傷害保険料
9. 個人的なお小遣い

※天候などの当社の関与し得ない事由のため、当初のスケジュールと異なり、ホテルに宿泊しなければならない場合は、宿泊費や食費が別途必要になる場合があります。

※燃油サーチャージ料は、燃油原価の高騰に伴い、航空会社が国土交通省に申請し、認可されたもので、航空運賃とは異なる付加的な運賃であり、区間や航空会社により異なり、一時的なものとして流動的に実施されております。

研修管理

添乗員は同行しませんが、引率指導者が国際線出発空港から同行します。期間中は常に、センター本社と連絡を取り合います。

為替変動による研修費用の変更について

このプログラムは、2023年10月20日時点の航空運賃、料金を基準として、研修費用の算出が行われております。研修費用は、航空運賃の改定や円ドル為替相場の変動に伴い、その変更が起こることがあります。資料編の「その他のプログラム条件」で明記されていますように、航空運賃の大幅な改定があった場合は、その増額、減額分が研修費用に反映されます。また、円ドルの為替相場は変動相場制ですので、その価格変動は常に起きておりますが、それを反映させることは現実的ではありません。そこで、このプログラムにおきましては、2024年3月20日の円ドル為替相場のTTSレートを基準値とし、その日の同レートが1ドル155円以上の場合や、100円以下の場合は、研修費用を再検討し、研修費用の増額、もしくは減額を行う場合があります。

研修内容

学校生活体験

ビザ免除の条件内活動の範囲で、アメリカの学校に体験入学し、通常の授業を受けます。音楽や体育、数学、歴史、そして国語としての英語、コンピューター、また、日本にはないようなユニークな授業もあります。授業のほとんどは理解できないかもしれませんが、同じ時間と空間を共有することで、同年代のアメリカ人の子どもたちがどのような授業を受けているのか、先生との関係はどうか、教育のシステムや学校の雰囲気等の日本との違いを、観察することができます。将来的に長期の留学を目指している方に最適なプログラムです。

社会生活体験

警察署、消防署、市役所、郵便局などの公共施設等を訪問し、そこで働く方々から仕事内容の説明を受ける社会見学や、学校、老人ホーム等で日本文化を紹介する文化交換会、工場や農場見学やボランティア活動等、様々な経験をします。

家庭生活体験

日中の活動が終了すると、参加者はホストファミリーの家に帰り、翌日学校が始まるまで、家庭でそれぞれの時間を過ごします。この家庭での時間にホストファミリーは、参加者に特別なことを計画しているわけではありません。参加者をゲストとして特別扱わず、普段通りの生活を送るだけです。ですから、ホストファミリーとの家庭生活に多くのものを期待することは禁物です。ホストファミリーは、純粋な博愛精神で皆さんを受け入れており、参加者に対して様々な場所に連れて行くという義務は一切負っていません。また、家庭内での食事や宿泊の提供も、彼らの好意によるも

のであり、義務ではありません。もし、「ホストファミリーが～してくれない」という彼らへの不満や苦情があるとすれば、それらはお客様意識や家庭に受け入れてくださる寛大な気持ちに対する理解や認識不足、また、ホストファミリーの比較によって生まれるものです。彼らの善意に応えるよう常に感謝の気持ちを持って、責任ある行動を心がけましょう。

ティーチャーコーディネーター（TC）

ティーチャーコーディネーター（TC）と呼ばれる米国人コーディネーターが、各種活動の企画や手配、現地学校との連絡等を行います。ホストファミリーの募集と決定も、TCが中心となって行います。問題が発生した際には、日本人の引率指導者と共に問題解決に尽力してまいります。

引率指導者

日本を出発し帰国するまで、参加者の指導にあたります。参加者と同じステイ地に滞在し、基本的に、期間中に企画された活動の全行程に同行します。

ウェルカムパーティーとサヨナラパーティー

ウェルカムパーティーは、ホストファミリーとTCが中心となって行われます。ゲームをしたり、歓談したり、他のホストファミリーと交流を深める場でもあります。そこでどういう過ごし方をするのか、どのようにふるまうべきか、アメリカ式パーティーのあり方を学んでください。サヨナラパーティーは、参加者が中心となり、お世話になったホストファミリーやTCに対して感謝の意味を込めて行うものです。歌や踊りや特技等を披露し、みんなが一丸となって成功させましょう。学校でお別れ会をすることもあります。

スケジュール表

月日	活動内容
1日目	日本出発。時差の関係で、日本出発日と米国到着日が同日。TCが空港で出迎え、バスでステイ地へ。ファミリーと対面し、夕刻からウェルカムパーティー。たくさんの人に自ら声かけをし、友達を作ろう!!
2日目	学校初日。いくつかのクラスに分かれて授業。学校でランチ。午後は消防署や警察署を訪問し、アメリカで働く人からの話を聞く。
3・4日目	ファミリーと週末と一緒に過ごす。期間中唯一の週末なので、ファミリーに日本料理を作ったり、手伝いをしたり、日本のことを教えたりして、ファミリーのために何ができるかを考えて時間を過ごそう。
5日目	クラスに分かれて授業を受ける。学校でランチ。午後は、スーパーマーケットを見学。アメリカの物価や物流について学習する。
6日目	クラスに分かれて授業を受ける。学校でランチ。午後は、博物館を見学。ステイ地の歴史について学ぶ。見聞きするだけでなく、学ぶ姿勢を持つ。質問を考えておき積極的に質問してみよう。
7日目	クラスに分かれて授業を受ける。学校でランチ。午後は、老人ホームを訪問。習字や折り紙などを披露したり、日本の歌を歌ったり、日本のことを紹介したりして、文化交流を行う。
8日目	クラスに分かれて授業を受ける。学校でランチ。午後はイースター（復活祭）など、日本にはないアメリカの祝祭日について学ぶ。
9日目	クラスに分かれて授業を受ける。学校でランチ。午後は、サヨナラパーティーの準備。夕刻から感謝を込めてサヨナラパーティー。みんな協力し合い、パーティーを成功させよう!
10・11日目	帰国日。ファミリーと別れて、バスで空港へ。TCとは空港でお別れ。アメリカでの思い出や学んだことの感想文を機内で書く。
12日目	日本到着。入国手続き後、国内線に乗り継ぎ各県へ。着後解散。帰国後は、ファミリーに無事に着いた旨とお礼の手紙を書くのを忘れないようにしましょう!!

※このスケジュールは、大体のひな形です。実際のスケジュールは、事前研修会（オリエンテーション）までにお渡しします。